

科目ナンバー：(I A) CC UBC 9 705、(I B) CC UBC 9 706、(II A) CC UBC 9 807、(II B) CC UBC 9 808
 (III A) CC UBC 9 909、(III B) CC UBC 9 910

研究指導 I A、I B、II A、II B、III A、III B (共生社会創造研究領域) Doctor Dissertation Seminar (Creation of Co-existing Society)	(教員名) 阿久澤 麻理子、新ヶ江 章友、 全 泓奎 (ジョン ホンギユ)、柏木 宏	
共生社会創造研究領域 研究指導科目	演習科目	必修
	各 2 単位	2018 年度 Aは前期、Bは後期
I 科目の主題 研究指導は、学会発表や学会誌などへの投稿論文や博士論文の作成を指導するものである。 研究指導 I においては、博士論文としてまとめるにふさわしい研究課題を設定し、研究活動を進める。 研究指導 II は、研究指導 I を受けていることが前提とされる。 研究指導 II においては、博士論文の構想発表を行えるように研究活動を進める。 研究指導 III は、研究指導 II を受けていることが前提とされる。 研究指導 III においては、博士論文の作成指導が主な課題である。		
II 授業の到達目標 博士論文の作成。		
III 授業内容・授業計画 研究指導 I 学生は、6 月末までに論文テーマと 3 年間の研究計画(第 1 次案)を作成する。 本年度夏休み終了時をメドに、学会誌等に投稿する研究論文(以下、論文 1)を作成し、後期にはレフェリーのコメントを得て、手直しを行い完成させる。 また、本年度、12 月までに研究計画を作成し、指導教員や領域の他の教員による指導を受けるとともに、研究の進捗状況の確認を受けるとともに、年度末までに、研究成果の作成と報告を行う。 研究指導 II 学生は 6 月までに博士論文作成に向けた研究計画(第 2 次案)を作成する。本年度前期に学会誌等に投稿する研究論文(以下、論文 2)を作成し、後期にはレフェリーのコメントを得て、手直しを行い完成させる。 また、本年度、12 月までに研究計画を作成し、指導教員や領域の他の教員による指導を受けるとともに、研究の進捗状況の確認を受けるとともに、年度末までに、研究成果の作成と報告を行う。 さらに、論文 1 と論文 2 の成果を盛り込んだ博士論文の構想を作成し、年度末に発表を行う。 研究指導 III 本年度 4 月に、研究指導 II の年度末に発表した博士論文構想に基づき、論文題目、章別編成を作成し、博士学位論文提出計画として提出する。この計画に基づき、7 月までに予備論文を作成し、提出する。そして 11 月に、博士論文を完成、提出する。 博士論文提出後は、学位論文審査の公聴会や口頭試問などの準備を行う。		
IV 事前・事後の学習内容 主指導教員の指導下に承認された研究計画を自立的に遂行する。		
V 評価方法 研究指導 I ①6 月と 11 月の研究計画の作成と研究の進捗状況の発表、②論文の準備と作成、③平常の個人指導の成果について、3 分の 1 ずつの割合で評価する。 研究指導 II ①6 月と 11 月の研究計画の作成と研究の進捗状況の発表、②論文の準備と作成、③平常の個人指導の成果、④構想発表の準備と内容について、4 分の 1 ずつの割合で評価する。 研究指導 III ①予備論文の内容、②平常の個人指導の成果について、2 分 1 ずつの割合で評価する。		
VI 受講生へのコメント 年度当初に提出する研究計画に沿って鋭意努力すること。		
VII 教材 指定しない。		